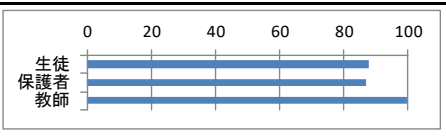
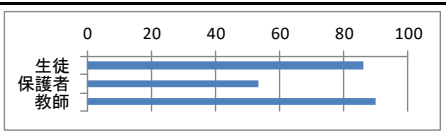
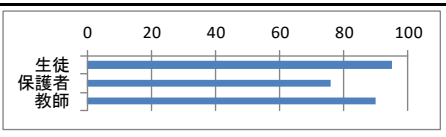
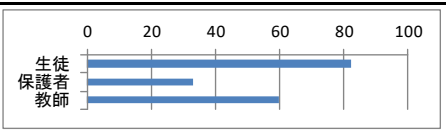
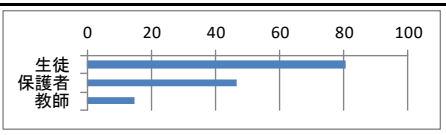
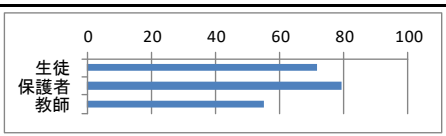
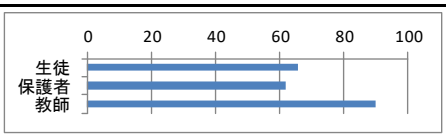
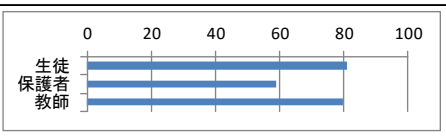
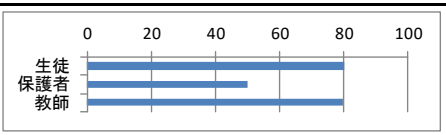
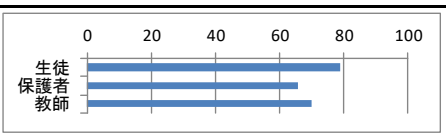
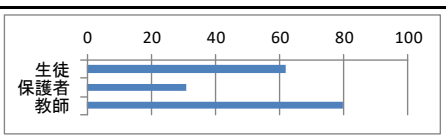


学校評価アンケートの集計結果について

1学期末に実施しました第1回学校評価アンケートについては、ご回答いただきありがとうございました。その集計結果がまとまりましたのでお知らせします。「すぐにできるもの」は早急に対応し、「取組の検討を要すること」や「保護者や地域の皆様の協力が必要なこと」は、学校やPTAをはじめ関係機関と連携して改善に努めていきます。

<※1 とても当てはまる 2 おおむね当てはまる 3 あまり当てはまらない 4 まったく当てはまらない 5 わからない>

領域	番	質問項目	対象	今回達成率 R3.8月		前回達成率 R3.2月		増減	グラフでの比較
				達成率	評価	達成率	評価		
豊かな人間性	1	自分は、学校生活を楽しく送っている。	生徒	88	A	90	A	-2	
	1	子どもは、学校生活を楽しく送っている。	保護者	87	A	89	A	-2	
	1	生徒は、学校生活を楽しく送っている。	教師	100	A	96	A	4	
	2	自分は、学校で時間を守った生活ができている。	生徒	86	A	90	A	-4	
	2	子どもは、家で時間を守った生活ができている。	保護者	53	D	57	D	-3	
	2	生徒は、学校で時間を守った生活ができている。	教師	90	A	75	B	15	
	3	自分は、学校であいさつができている。	生徒	95	A	95	A	0	
	3	子どもは、家であいさつができている。	保護者	76	B	73	B	3	
	3	生徒は、学校であいさつができている。	教師	90	A	67	C	23	
	4	自分は、学校で清掃ができている。	生徒	82	A	88	A	-6	
	4	子どもは、家で清掃（整理整頓）ができている。	保護者	33	D	37	D	-4	
	4	生徒は、学校で清掃ができている。	教師	60	C	63	C	-3	
	5	自分は、スマホやゲームを適切に使っている。 ※所持なしは、無記入	生徒	81	A	86	A	-5	
	5	子どもは、スマホやゲームを適切に使っている。 ※所持なしは、無記入	保護者	47	D	45	D	2	
	5	生徒は、スマホやゲームを適切に使っている。	教師	15	D	29	D	-14	
	6	自分は、家族に学校の様子を伝えている。	生徒	72	B	77	B	-5	
	6	先生は、通信等で学校の様子を伝えている。	保護者	79	B	80	A	0	
6	自分は、通信等で学校の様子を伝えている。	教師	55	D	61	C	-6		
7	先生は、生徒の悩みや相談に応じてくれる。	生徒	66	C	77	B	-11		
7	先生は、生徒の悩みや相談に応じている。	保護者	62	C	71	B	-9		
7	自分は、生徒の悩みや相談に応じている。	教師	90	A	92	A	-2		
確かな学力	8	自分は、学習意欲をもって授業に参加している。	生徒	81	A	84	A	-3	
	8	子どもは、授業が楽しいと言っている。	保護者	59	D	59	D	0	
	8	自分は、学習意欲を引き出す授業を行っている。	教師	80	A	87	A	-7	
	9	自分は、授業の内容がわかる。	生徒	80	A	82	A	-2	
	9	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	保護者	50	D	52	D	-2	
	9	生徒は、授業の内容がわかっている。	教師	80	A	92	A	-12	
	10	自分は、家庭学習をしている。	生徒	79	B	79	B	0	
	10	子どもは、家庭学習をしている。	保護者	66	C	71	B	-5	
	10	生徒は、家庭学習をしている。	教師	70	B	63	C	8	
	11	自分は、読書をしている。	生徒	62	C	46	D	16	
	11	子どもは、読書をしている。	保護者	31	D	29	D	2	
11	生徒は、読書をしている。	教師	80	A	75	B	5		

※1～5は、割合（％）で表記 達成率は、1+2=A：80％以上、B：70～80％未満、C：60～70％未満 D：60％未満

領域	番	質問項目	対象	今回達成率		前回達成率		増減	グラフでの比較
				R3.8月		R3.2月			
健康な体	12	自分は、運動に親しんでいる。	生徒	76	B	79	B	-2	
	12	子どもは、運動に親しんでいる。	保護者	70	B	68	C	3	
	12	生徒は、運動に親しんでいる。	教師	85	A	96	A	-11	
	13	自分は、部活動に意欲的に取り組んだ。 ※所属なしは無記入	生徒	90	A	94	A	-4	
	13	子どもは、部活動に意欲的に取り組んだ。 ※所属なしは無記入	保護者	91	A	88	A	3	
	13	生徒は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	教師	100	A	96	A	4	
	14	自分は、朝ご飯を食べている。	生徒	92	A	92	A	0	
	14	子どもは、朝ご飯を食べている。	保護者	91	A	92	A	-1	
	14	生徒は、給食を残さず食べている。	教師	95	A	83	A	12	
	15	自分は、家で歯磨きをしている。	生徒	97	A	97	A	1	
	15	子どもは、家で歯磨きをしている。	保護者	90	A	92	A	-2	
	15	生徒は、学校で歯磨きをしている。	教師	70	B	58	D	12	
	16	自分は、交通ルールを守っている。	生徒	96	A	97	A	-1	
	16	子どもは、交通ルールを守っている。	保護者	93	A	93	A	0	
	16	生徒は、交通ルールを守っている。	教師	80	A	58	C	22	

<アンケート結果の分析> ※番号は、アンケート番号と同じ

【豊かな人間性】

- 1 生徒・保護者・教師とも、生徒は楽しい学校生活を送っているとおおむね好評価であった。
- 2 時間を守った生活については、学校ではきちんと守れているが、家庭ではあまり時間を守れていない傾向にある。
- 3 あいさつについては、教師と生徒自身はあいさつができていていると感じているが、家庭ではあいさつができていない傾向が見られる。*重点指導項目①
- 4 掃除については、学校での自問清掃がしっかりと定着してきたとは言えない状態であり、家庭での清掃は特にできていない状況が見られる。*重点指導項目②
- 5 スマホやゲームの使い方については、生徒自身のルールやマナーを守って使っているつもりだが、スマホに絡む生徒指導上の問題も発生しており、保護者・教師は低評価である。*重点指導項目③
- 6 生徒や保護者は学校の様子に関することはおおむね高評価である。しかし、教師は通信等で学校の様子を伝えきれていないと考えており、学校便りや学級便り、ホームページ等での周知がさらに必要である。
- 7 悩みの相談については、教師はできていると考えているが、生徒や保護者は、学校にもう少し相談に乗ってほしいとの思いがある。

【確かな学力】

- 8 教師は学習意欲を引き出す授業を行い、生徒は学習意欲を持って授業に参加している。しかし、保護者にそのことがあまり伝わっていない。
- 9 授業の内容についても、生徒と教師は高い評価であるが、保護者に授業の様子が伝わっていない。
- 10 家庭学習については、生徒自身は取り組んでいるつもりであるが、保護者、教師はまだ不足していると考えている。*重点指導項目④
- 11 読書については、教師は一斉読書の時間を設けたことにより、生徒がよく読んでいると感じている。生徒もおおむね読書に取り組むようになったが、保護者は低評価であり、読書の取組を要する。

【健康な体】

- 12 運動については、教師の評価は高いが、生徒・保護者の評価はあまり高くない。
- 13 部活動については、生徒・保護者・教師とも意欲的に取り組んでいると評価している。
- 14 朝ご飯や給食はよく食べていると評価が高い。
- 15 家での歯磨きはきちんとできているが、学校での歯磨きには課題がある。
- 16 交通ルールは、教師・生徒・保護者は守れていると高評価であったが、引き続き、交通ルールについては継続的な指導や啓発を行う必要がある。*重点指導項目⑤

<重点指導項目の対策>

○重点指導項目①について

あいさつについては、学校内ではきちんとしたあいさつができていている生徒が増えてきたものの、家庭や地域でのあいさつが十分ではないので、日常的に指導していきます。

○重点指導項目②について

まずは、学校における自問清掃の取組及び棚や机の整理整頓の徹底を図ります。また、その取組が日常的に家庭で実践できる力の育成も行っていきます。

○重点指導項目③について

スマホやゲーム等の使用については、「くまもと携帯電話・スマートフォンの利用5か条」や「錦町情報安全ルール三ヶ条」をもとに、PTAとも連携しながら、適切な扱い方の指導を継続して行っていきます。

○重点指導項目④について

家庭学習については、帰りの会で学習内容の確認や計画を設定するなど、家庭学習の見通しを持たせる取組を行います。また、「学びてノート」を各教科でも有効的に活用し、計画的な家庭学習に取り組めるよう個に応じた指導を行っていきます。

○重点指導項目⑤について

交通ルールについては、「自転車安全利用五則」の厳守とともに、登下校における交通マナーの向上を図っていきます。